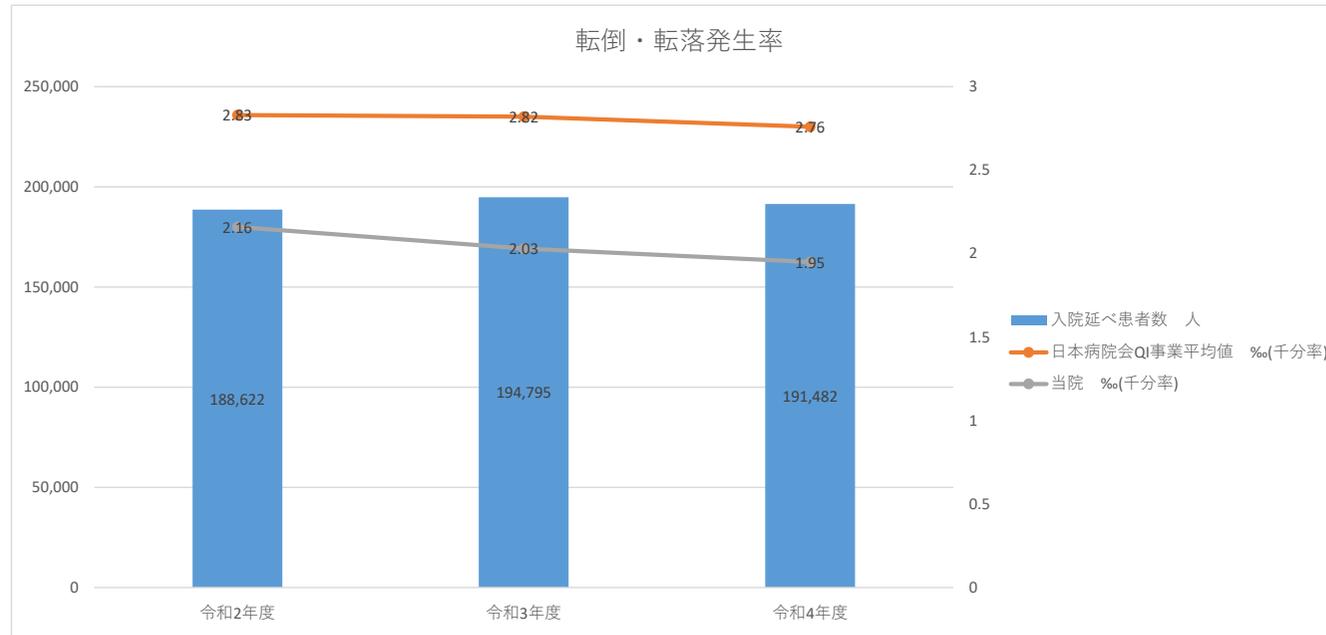


転倒・転落発生率



計算方法

分子	医療安全管理室へインシデント・アクシデントレポートが提出された転倒・転落件数
分母	入院延べ患者数
除外	外来患者

指標の解説

- ・入院中は、入院生活という生活環境の変化によるものや、病気そのもの、治療、手術、薬剤などの影響により、自宅にいるとき以上に転倒、転落リスクが高くなります。
- ・転倒・転落は骨折などの損傷に結びつく危険姿勢が高く、病状の回復の遅れや日常生活の動作に支障が出るなど、患者さんの生活の質に大きな影響を及ぼします、転倒・転落を100%防止することは難しい現状ですが、発生件数や事例を追跡し分析することで、転倒・転落による損傷の低減に役立っています。